

## ■最新コンテンツによる体験会 (参考例)



- ビジネス領域の拡大
- トレーニング
- デザイン&プロトタイプ
- レイアウト
- シミュレーション
- 作業補助
- 遠隔コミュニケーション
- ビジュアライゼーション
- ロケーションベースVR
- 360度動画配信 等々

### ◆HTC VIVE X 3システムによる体験会



## ■観光・文化財 x VR

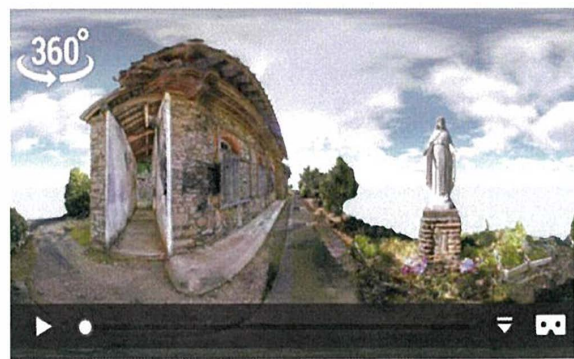
訪れなくても実際にその地を旅行した感覚になれるVRは、旅前利用によって観光の下見を促進し、また旅中利用によって満足度を向上させる効果も見込まれている。

「地球がむき出しの島 三宅島 リアル自然体験VRコンテンツ」(株式会社IMAGICA)



リアルタイムCGを使った三宅島のジオラマのようなメニューと、三宅島の圧倒的な景観約10箇所をハイエンドVR用カメラで撮影。360度立体映像とそこにいるかのような没入感のある空間音響で仕上げた観光用コンテンツ。

「Nagasaki VR」(株式会社ハコスコ)



長崎県の複数の教会(「長崎の教会群」)を撮影した360度動画。教会をバーチャルツアーできるという内容で、人の目の高さで歩く体験の「ウォークスルー」とドローンのような小型ヘリコプターの視点で動く体験の「フライスルー」、さらに教会から高度数百メートルを飛ぶ体験の「ハイジャンプ」など。



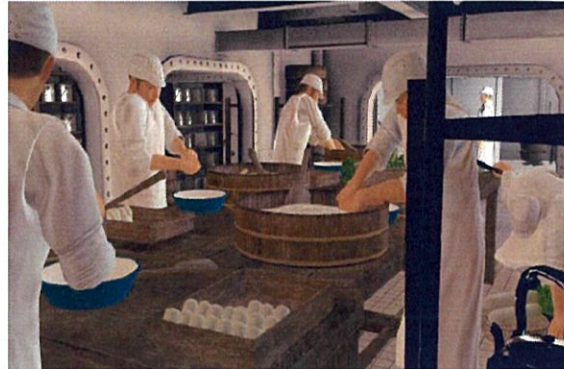
## ■ 歴史再現・文化財 x VR

VRは過去に存在した物や過去の光景などを再現することに適している。歴史的な場所をフルCGで再現することにより、体験者はあたかもタイムマシンで戻ったかのように、雰囲気を感じることができる。

「戦艦大和VR」(株式会社神田技研)



研究資料や元乗組員の証言を元に可能な限り細部まで復元した75年前に竣工した大和の姿を、当時の乗組員と同じ視点で体感することができる。外観のみならず、第一艦橋や操舵室、主砲内部などの重要施設も見学可能。



乗組員の居住施設や烹炊所も再現し、乗組員がどのような生活をおくっていたのかも知ることができる。同じく神田技研制作の「VR日本海海戦」は神奈川県横須賀市の記念艦三笠の艦内にて展示されている。

## ■ 建築・製造業 x VR/MR

VRを使うことにより、図面の段階でも、実際にその建物を立てたらどうなるのかを実際に体感することができる。また、普段は見ることのできないものも実寸大で表示できるなど、トレーニング/シミュレーションに向いている。

「Symmetry Alpha」(Dverse.Inc)



PCIに保存されている3Dモデルのファイルを読み込むだけで、VR空間内にモデルを呼び出すことができる。ジオラマのように俯瞰で見下ろすモードと、その中に原寸大で入り、歩き回るモードの2種類が用意されている。

「安全体感VRトレーニング」(株式会社積木製作)



高所作業での危険性、安全帯の重要性を再認識することを目的とし、「建設現場における仮設足場からの墜落」を再現。体験者は実際にVR空間内で自分の手足を認識しながら歩くことで、よりリアルな体験が可能になっている。